

大阪 高槻ラウンド報告書



令和2年9月5日（土）高槻市役所総合センターにて「高槻ラウンド」を開催しました。

新型コロナウイルス感染拡大の中、今回は、大阪府内の先生方を対象にさせていただきました。参加を楽しみにして下さっていた他府県のみなさま、申し訳ございませんでした。このような中でしたが、大阪府内の先生方13名にご参加いただき、コロナ禍にありながらも「体育」について一緒に考えを深められる時間となりました。

また、急遽、リアルタイム配信をさせていただくことになり、zoomを使って他府県からご参加いただきました。初めての試みで、見苦しいところもあったと思いますが、全国の先生方と繋がる方法も新たに学ぶことができました。

佐藤先生、高橋先生、ご参加いただいた先生方、ありがとうございました。



1. 「『主体的に学習に取り組む態度』の評価について」

高橋先生からは、「『主体的に学習に取り組む態度』の評価」についてご説明いただきました。「意図的に指導し、評価をする」ということを改めて確認できたと思います。以下、概略です。

「主体的に学習に取り組む態度」の評価は、体育においては学習指導要領に示された内容について指導し評価することが求められる。また、愛好的な態度については、3つの資質・能力の学習に積極的に取り組んでいるかということであり、授業を行っていたら自然に身に付いていくというものではないということに留意しなければならない。態度を指導する場面とそれを評価する場面を単元の計画として設定し、その際、学習指導要領解説に示されている「なぜそれが必要なのか」という意義や価値を子どもたちが理解できるような指導をすることが大切である。

また、「主体的に学習に取り組む態度」の評価は、指導してすぐに身に付く子どもと、じっくり考えてできるようになる子どもがいるため、指導した時間にすぐ評価をするのではなく、少し時間を置いてから評価することで子どもたちの成長が見られ、よりよい評価につながる。



2. ワークショップ 「『主体的に取り組む態度』の教材検討について」



学習用の資料を映像で確認した後、「球技（ゴール型）」の単元構造図をもとに「主体的に取り組む態度」の教材検討を進めました。学習指導要領解説の内容を確認しながら実際の授業での実践例を話し合い、グループシートを作成していきました。

グループごとの発表では、「話し合いに参加しようとする」との指導について、「何を話合うのかが分かるような発問を工夫したり、話し合いができるための知識の指導を行ったりすることが大切ではないか」という意見がありました。また、「一人一人の違いを認めようとする」との指導については、「楽しかったり、達成感を感じたりする内容は人によって違うことを理解できるようにしたり、みんなが楽しむためのルールを考えたりして身に付けていくことができればいいのではないか」、などの発表がありました。

3. まとめ

「学びに向かう力、人間性等」の指導については、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」の指導とも関連させながら、授業者が意図して指導していくことがとても大切だということが分かりました。そのために、学習指導要領の内容を理解したうえで、何をどの場面で指導するのか、単元のまとまりとして考え指導していくことが重要であることも再確認できました。

来年は、新型コロナにも対応し、東京オリンピック・パラリンピックが無事に開催され、全国のみなさんと9月の高槻ラウンドでお会いできることを楽しみにしています。

（文責：岩佐知美）